

最近の経済動向

平成27年10月号

(平成27年8月の経済指標を中心として)

【北海道の景気概況】

緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

〔需要動向（消費・投資）〕

- P 1 ■個人消費 ～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる
大型小売店販売額
コンビニエンスストア販売額
新車登録台数
- P 2 ■住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる
新設住宅着工戸数
- P 3 ■公共工事 ～ 減少している
公共工事請負金額
- P 3 ■観光 ～ 改善している
来道者数
- P 4 ■輸出入 ～ 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った
輸出入額

〔生産動向〕

- P 5 ■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている
鉱工業生産指数
- P 5 ■電力 ～ 前年を下回った
電力需要
- P 6 ■企業倒産 ～ 負債総額は減少したが、件数は増加した
倒産件数
負債総額

〔雇用動向〕

- P 7 ■求人・求職 ～ 緩やかに改善している
月間有効求人数・求職者数
有効求人倍率
- P 8 ■失業
完全失業者数
完全失業率

〔物価動向〕

- P 8 ■物価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った
消費者物価指数

〔企業情報〕

- P 9 ■企業のみなさまから伺いました

〔地域の経済動向〕

- P 11 ■地域の経済動向
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

〔景気動向指数・全国の景気〕

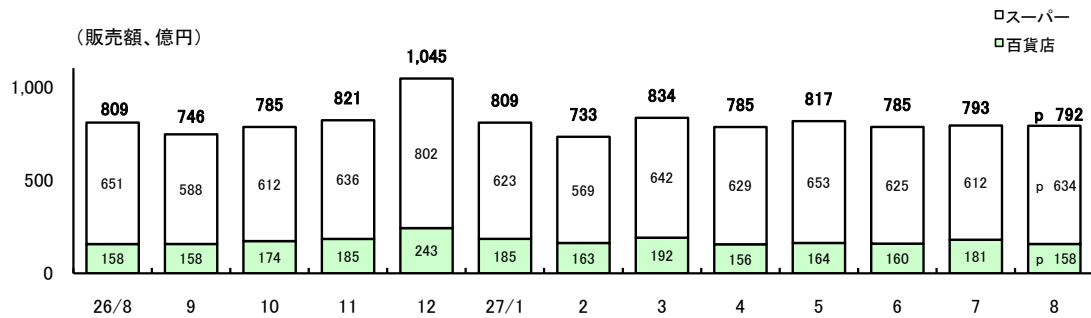
- P 17 ■北海道の景気動向指数
- P 18 ■全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

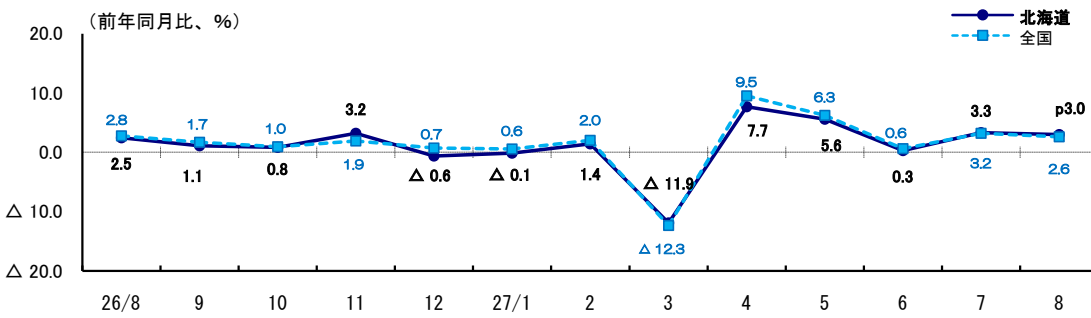
■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

◆大型小売店(全店)販売額(8月)◆

大型小売店販売額は、792億円で前年同月比3.0%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。



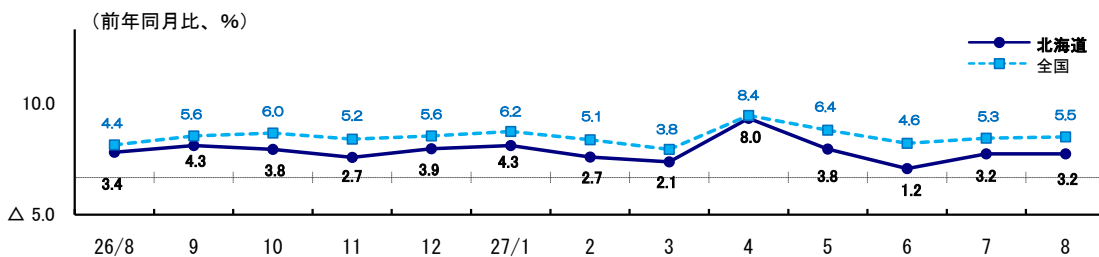
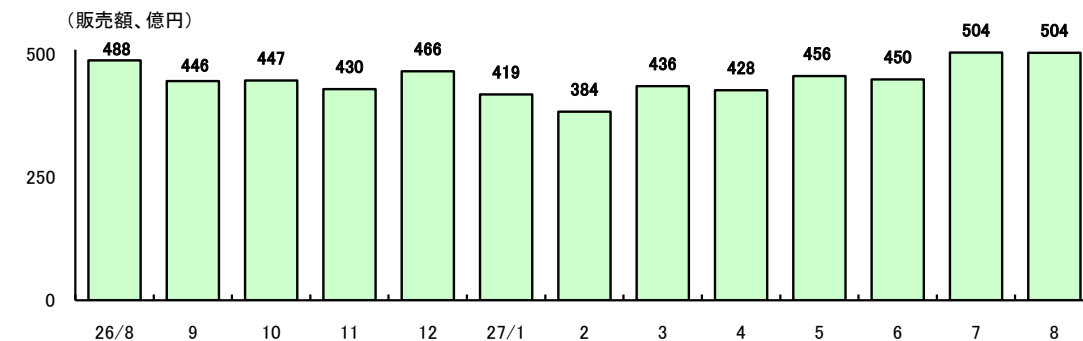
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(8月)◆

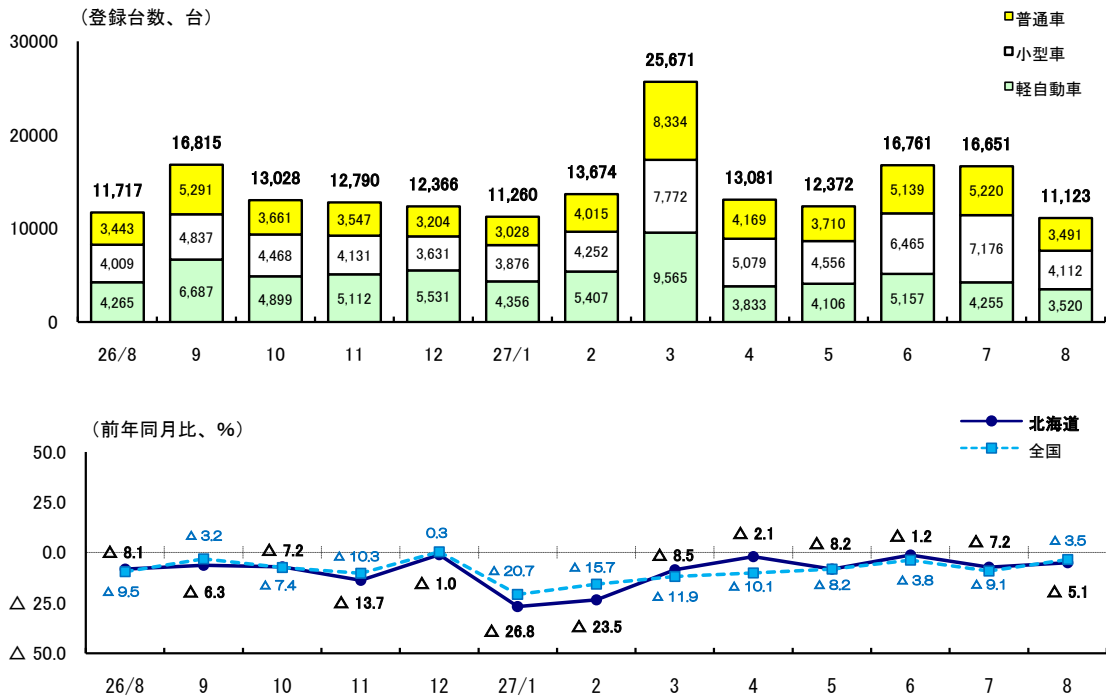
コンビニエンスストア販売額は、504億円で前年同月比3.2%の増加となり、23か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（8月）◆

新車登録台数は、11,123台で前年同月比5.1%の減少となり、17か月連続で前年を下回った。

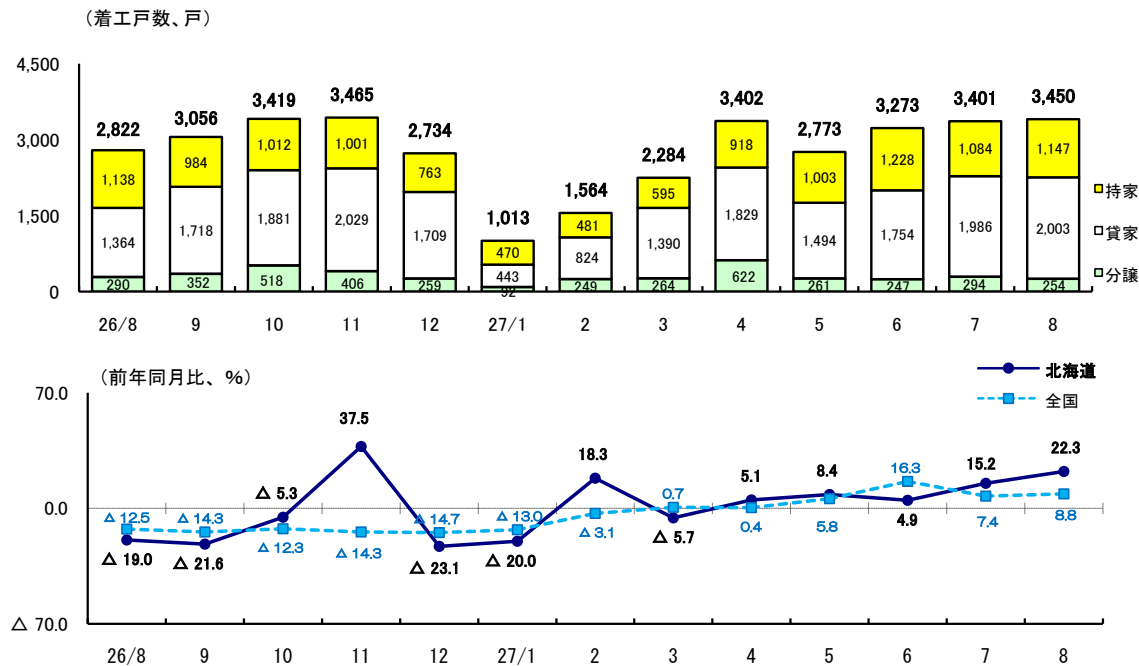


(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる

◆新設住宅着工戸数（8月）◆

総戸数は、3,450戸で前年同月比22.3%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。

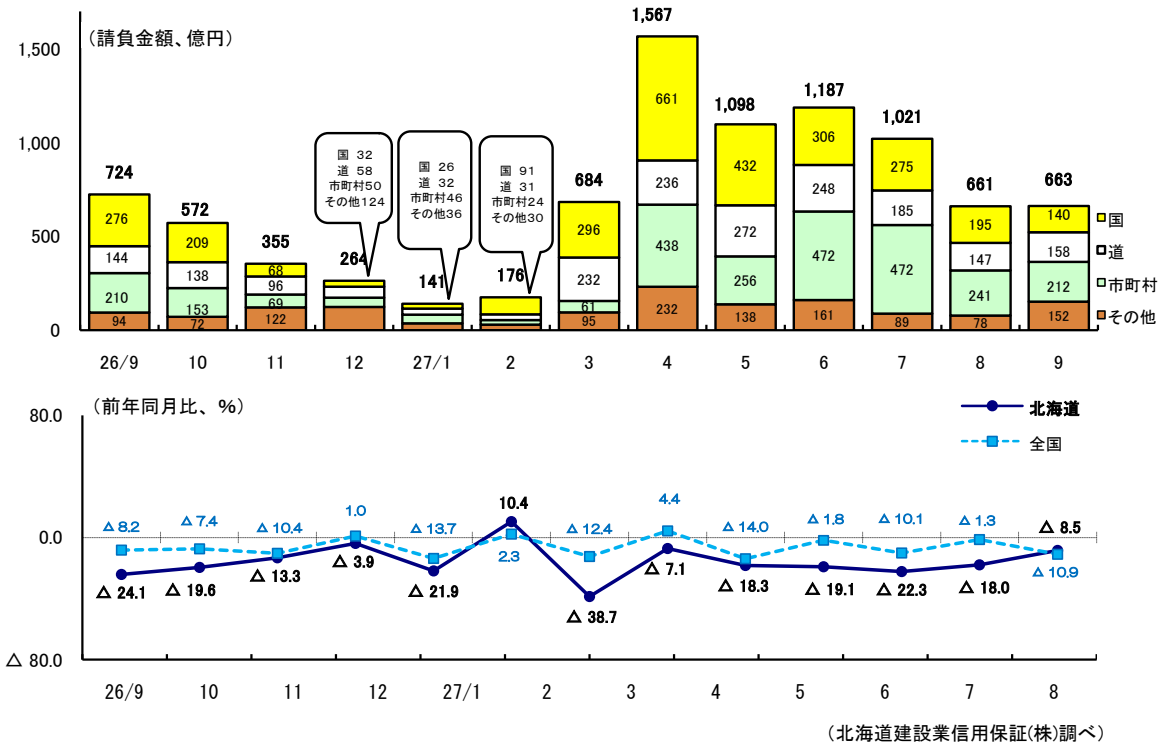


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事 ～ 減少している

◆公共工事請負金額（9月）◆

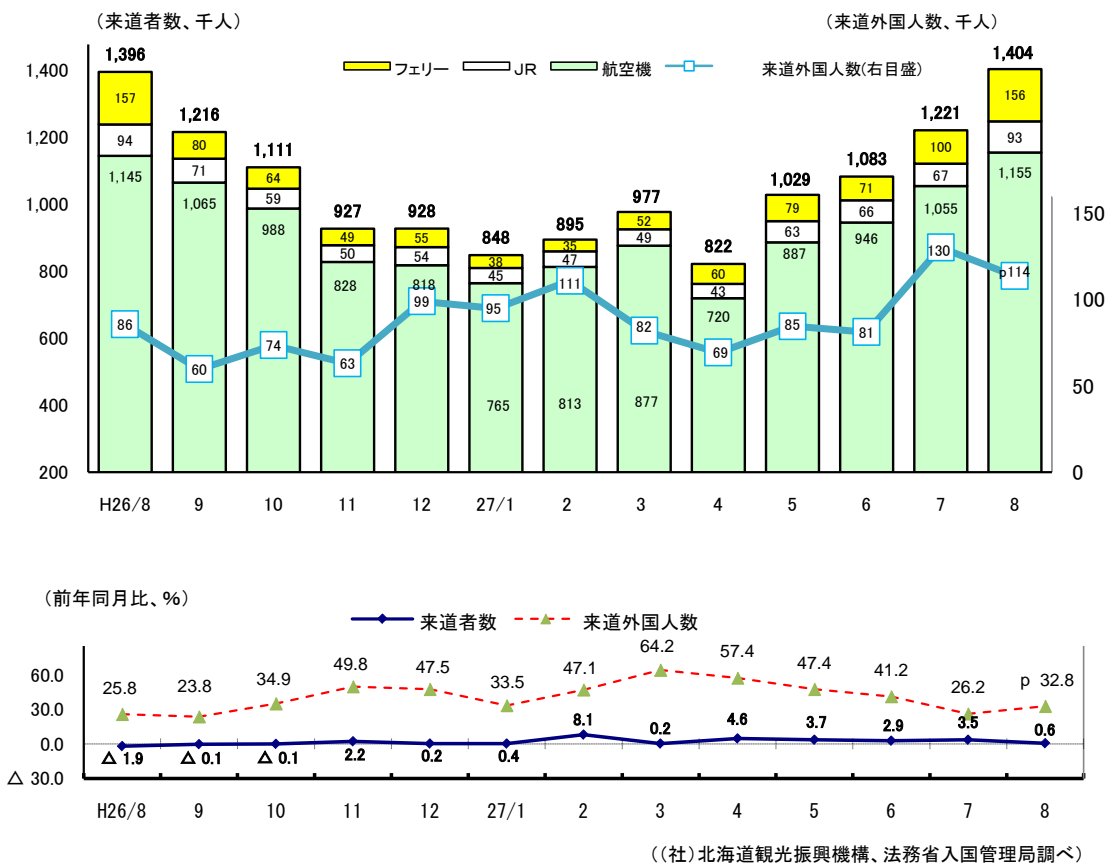
請負金額は、663億円で前年同月比8.5%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。



■観 光 ～ 改善している

◆来道者数（8月）◆

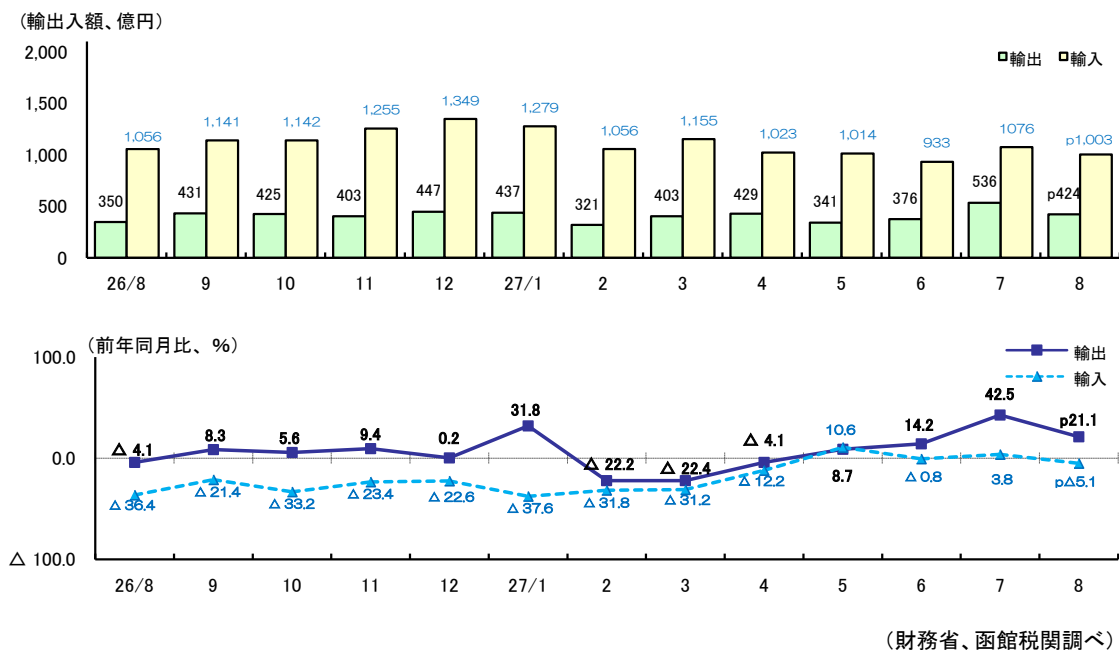
来道者数は、140万4千人で前年同月比0.6%の増加となり、10か月連続で前年を上回った。
本道に直接入国した外国人は、11万4千人で同32.8%の増加となり、31か月連続で前年を上回った。



■輸出入～輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

◆輸出入額（8月）◆

輸出額は、424億円で前年同月比21.1%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。
 輸入額は、1,003億円で同5.1%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。

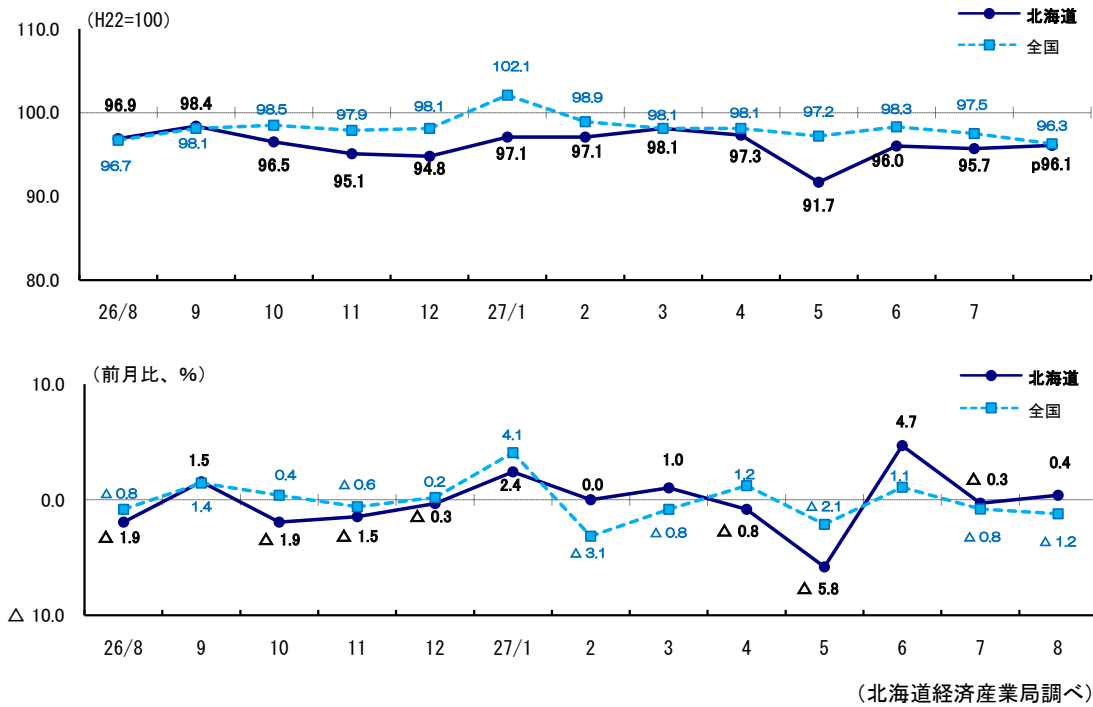


[生産動向]

■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（8月）◆

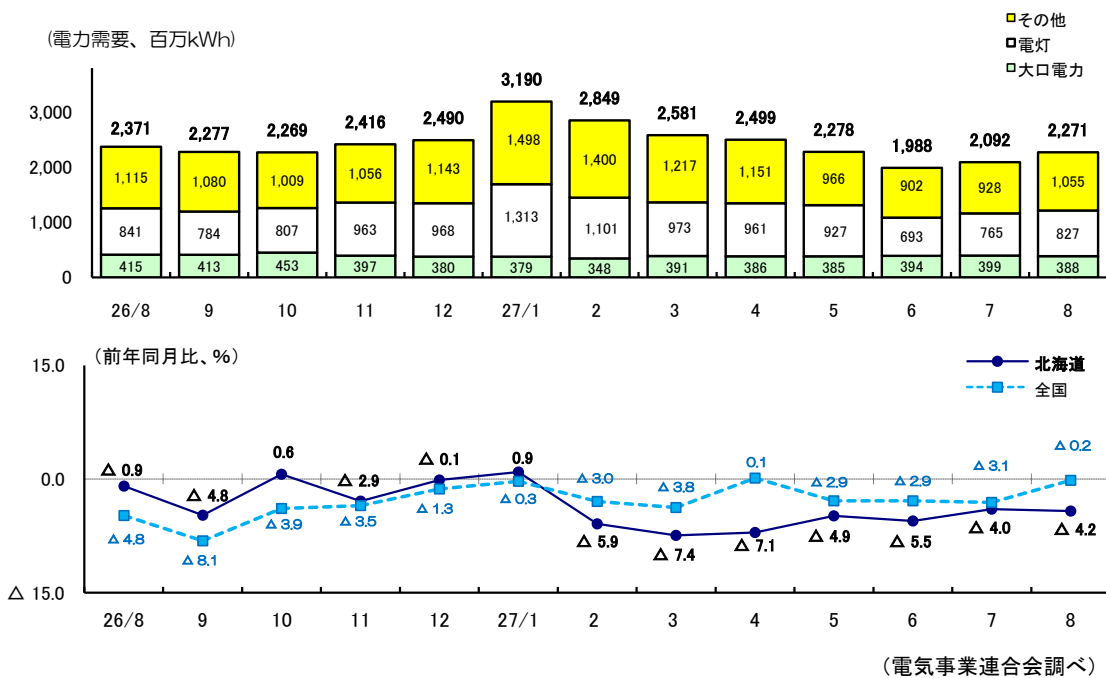
鉱工業生産指数(季節調整済)は、96.1で前月比0.4%の増加となり2か月ぶりに前月を上回った。



■電 力 ～ 前年を下回った

◆電力需要（8月）◆

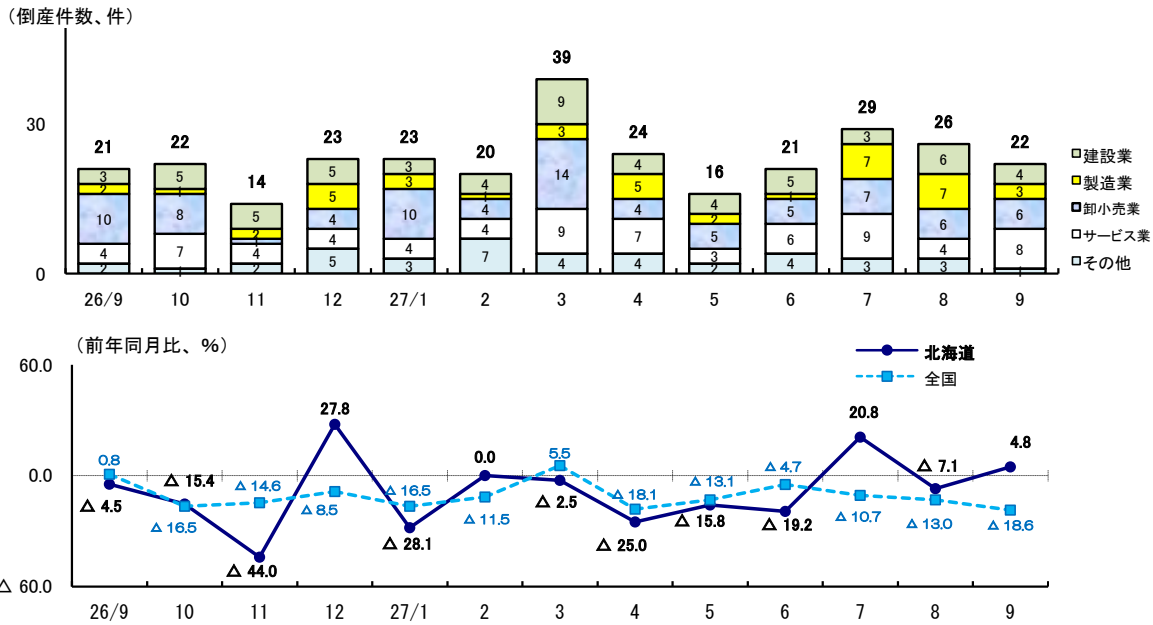
電力需要は、2,271百万kWhで前年同月比4.2%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。



■企業倒産 ～ 負債総額は減少したが、件数は増加した

◆企業倒産件数（9月）◆

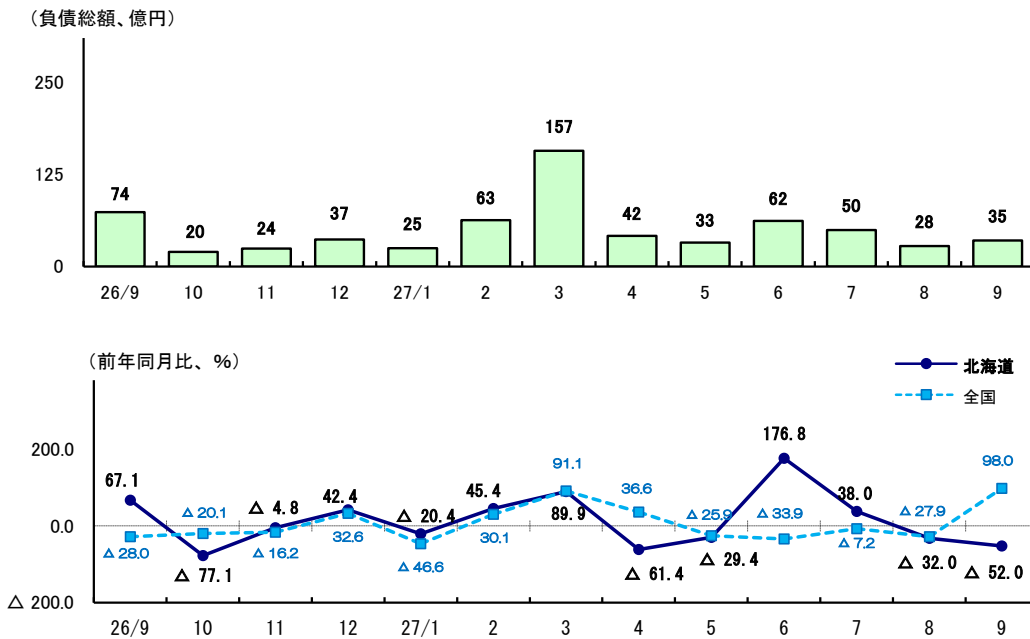
企業倒産件数は、22件で前年同月比4.8%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆負債総額（9月）◆

負債総額は、35億円で前年同月比52.0%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



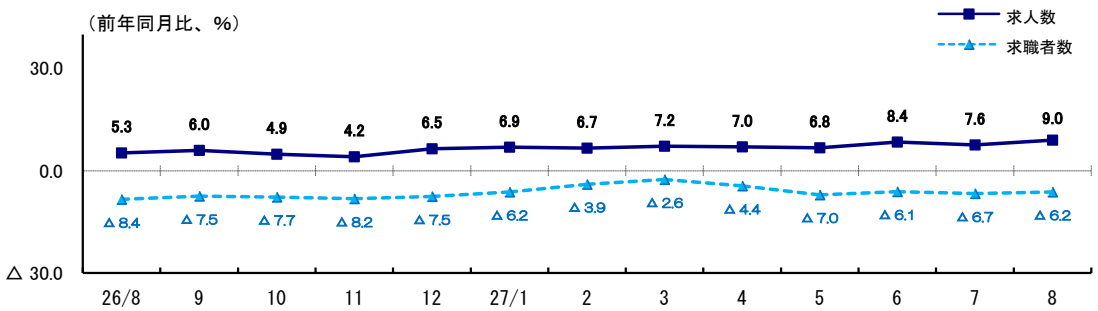
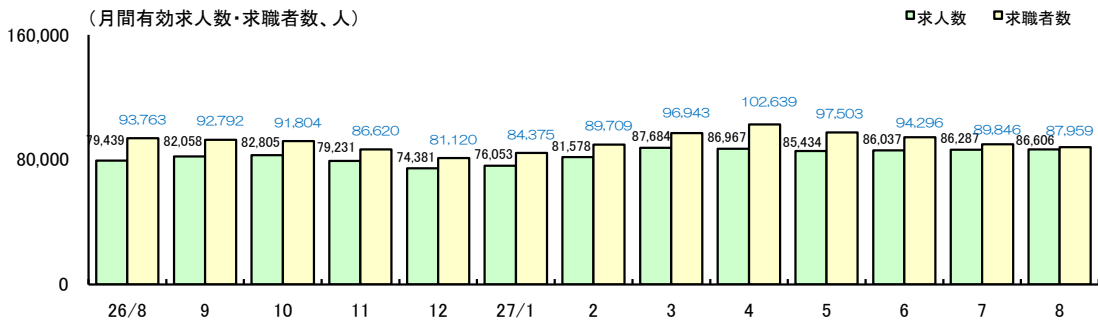
((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

[雇用動向]

■求人・求職～ 緩やかに改善している

◆月間有効求人数・求職者数（8月）◆

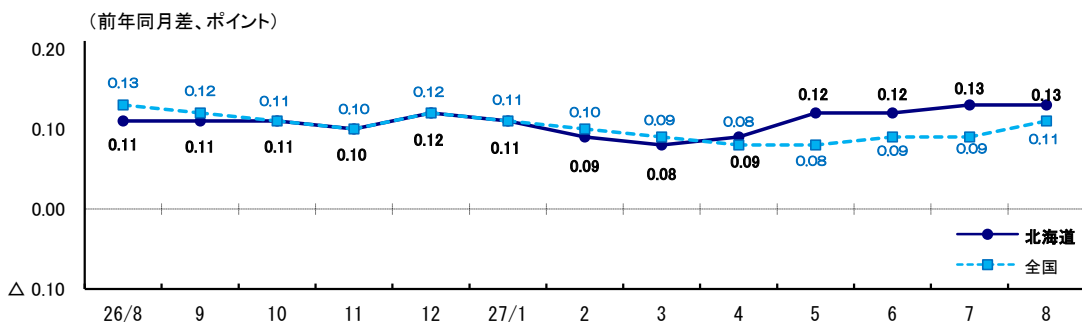
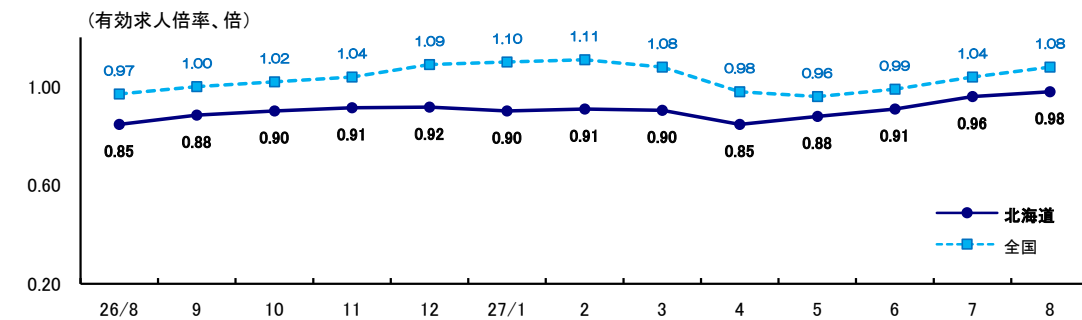
月間有効求人数は、8万6,606人で前年同月比9.0%の増加となり、67か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万7,959人で同6.2%の減少となり、46か月連続で前年を下回った。



(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

◆有効求人倍率（8月）◆

有効求人倍率は、0.98倍で前年同月差で0.13ポイントの増加となり、67か月連続で前年を上回った。

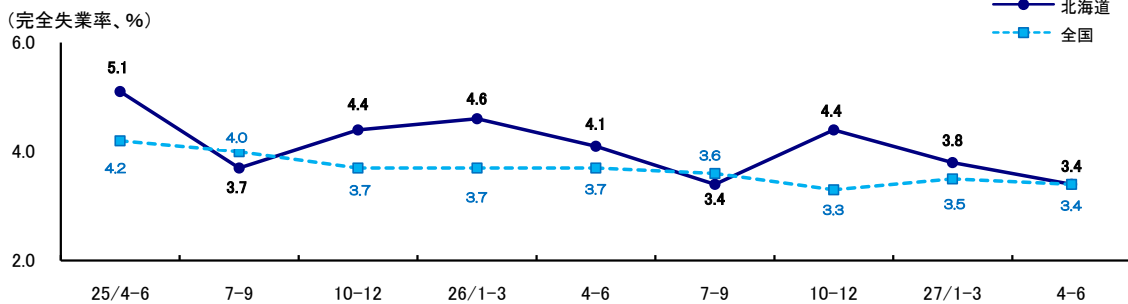
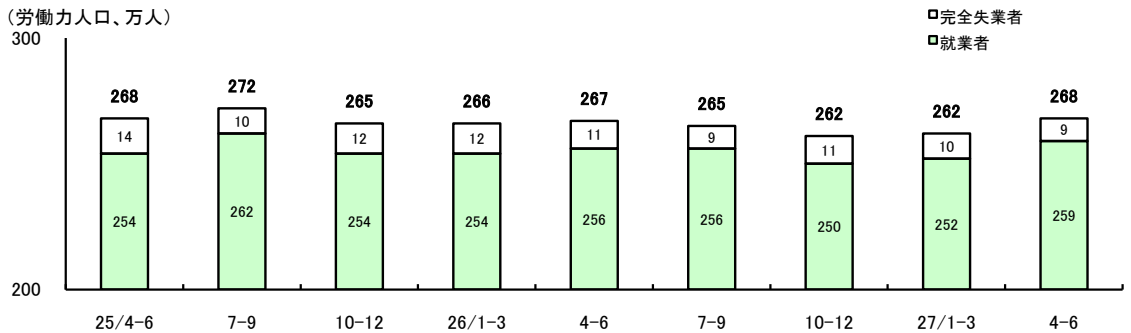


(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（27年4-6月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期と比べ2万人の減少となっている。
完全失業率は、3.4%で前年同期から0.7ポイント低下した。



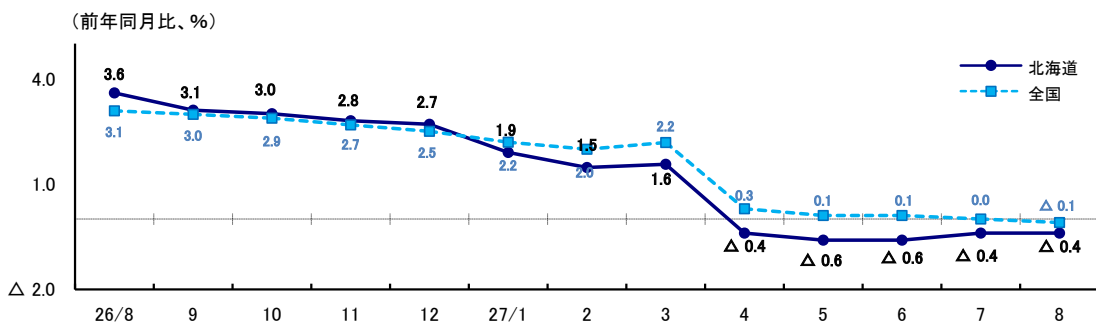
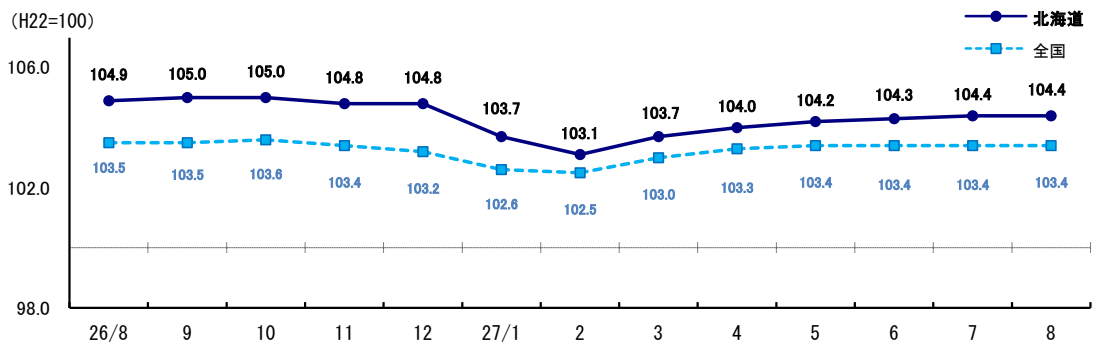
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（8月）◆

消費者物価指数は、104.4で前年同月と比べ0.4%の低下となり、5ヶ月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【売上は横ばいかやや弱い】

今年の9月は、前年より日祭日が1日多かったが、雨天が多く天候不順が続いたことから、来店客数が伸びず、販売の柱である婦人服などの売上が前年並みとなった。

外商部門が好調だったことから、全体的な売上については、横ばいかやや弱めとなった。

【外国人による「爆買い」傾向の変化】

外国人による売上については好調さを維持しており、前年同月期と比較して2倍強の伸びとなっている。しかし、海外ブランドの高級時計や特選ブティックなどの「爆買い」の件数については、8月以前と比較し減少傾向にある。

◆スーパー(道央圏)

【節約志向が続いている】

9月は、気温の低下とともに鍋物の具材の売上は伸びたが、野菜については産地の天候不順の影響により葉物を中心に単価の高い状況が続いているため、売上は減少した。

全体としては、シルバーウィークなどの行楽需要や祝日が前年より1日多かったことなどにより売上は前年を僅かに上回った。

来店客数は増加しているものの、買上点数があまり伸びないことから unnecessaryなものは購入しないなどの節約志向を見て取ることができる。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【堅調に推移】

9月は、前年の同月と比べると、来客数は減少したものの、一人あたりの買い上げ点数が増加し、商品単価が上昇したため、売上高は増加した。

気温は前年並みだったが、最低気温が昨年より高めで推移したことから、ビールやアイスなどの売上が伸びた。シルバーウィークは、前半天候が悪かったが、後半持ち直し、前年以上の人出となったため、行楽地を中心に弁当、飲料水等の売上が増加した。

◆食料品製造業(オホーツク圏)

【売上は値上げにより増加】

地元農産品の加工、製造、販売を行っており、今年度上期の累計出荷額は、原材料価格の上昇のため今年2月にやむなく製品価格に転嫁したことから、10%程度増加となったが、値上げ分を除くと微増に留まっている。また、海外向けにも出荷しており、近年、こちらは増加傾向となっている。

【電気代の再値上げによるコスト増】

原材料、製品保管など冷凍保存や照明などの電気代は、昨年11月の北電の再値上により昨年分

だけでも300万円の負担増となった。省エネのLEDや性能が高い冷凍機に更新するなど対策を講じているところであるが、今年度も値上げの影響は残っており、今期の見込みとしては約600万円のコストアップが避けられないと考えている。

【今後は原材料調達の確保が問題】

現在、希望どおりの人材は確保されているが、今後はコスト削減のため、省人化できる設備への更新について検討しているところである。農産物栽培農家の高齢化などもあり、今後の安定的な原材料確保に向け、栽培農家の支援など行っているが、国内外の新たな産地開拓が必要であると考えている。

◆一般貨物自動車運送業(オホーツク圏)

【収益は減少傾向】

貨物輸送を中心に碎石生産販売や土木請負、石油販売、不動産など幅広く事業を展開している。公共工事や民間工事などの発注減の傾向が続いており、受注量が減少したため売り上げが悪化し、原油価格の高騰により燃料費が値上がった昨年と比べて、今年度は、原油価格が下落したにも関わらず、厳しい状況にある。

【厳しい貨物輸送部門】

貨物運送に関しては、燃料費が下落しているものの、車両の維持、更新に経費がかかるため、一部の運賃を値上げしたが、儲けに至っていない現状となっている。

公共工事などの発注が少なくなる冬期間には、札幌圏や本州へ車両を派遣するなど、遊休車両の活用に努めている。

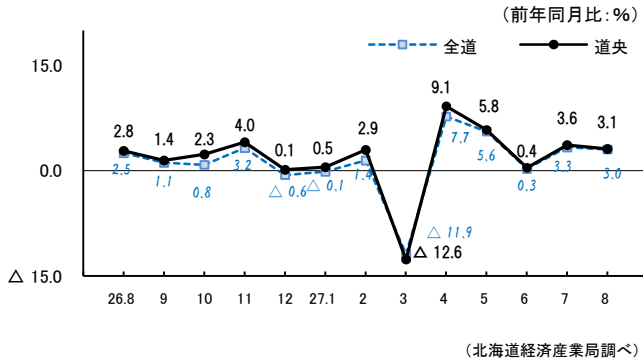
【時代のニーズにあった事業展開】

近年の本道観光ブームで、オホーツク管内でも本州からの移住者やインバウンドが増加しており、宿泊施設不足が顕著となってきていることから、今後は、安定的な収益を見込める不動産や建築部門、更には新規事業に活路を見いだしたいと考えているところ。

■道央圏

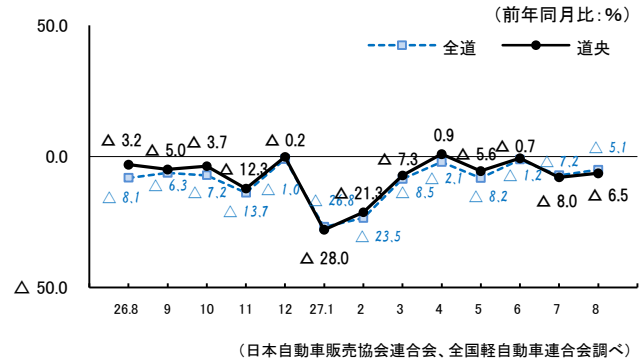
◆大型小売店販売額（8月）◆

（全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市）
5か月連続で前年を上回った



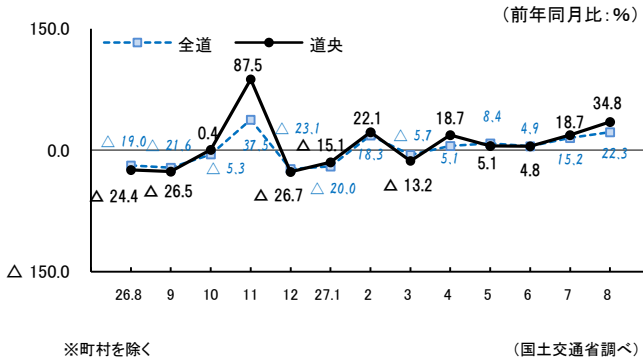
◆新車登録台数（乗用車）（8月）◆

4か月連続で前年を下回った



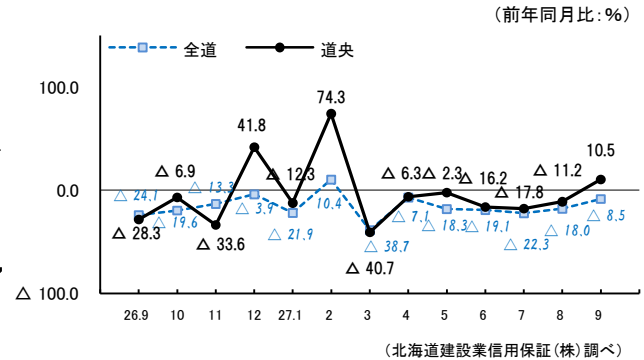
◆新設住宅着工戸数（8月）◆

5か月連続で前年を上回った



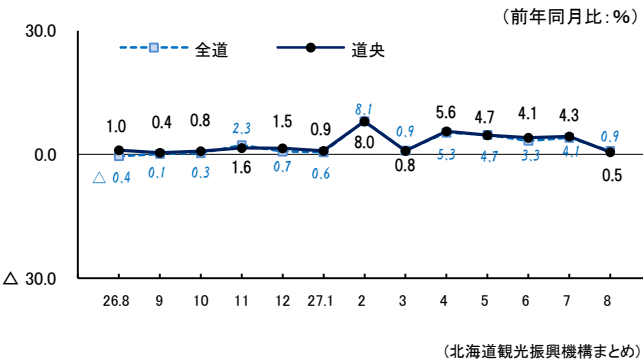
◆公共工事請負金額（9月）◆

7か月ぶりに前年を上回った



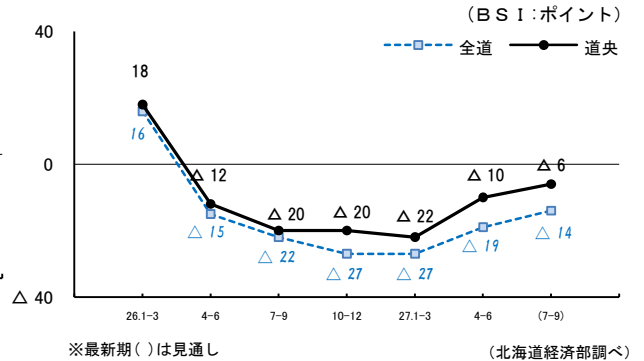
◆航空機利用による来道者数（着地別）（8月）◆

14か月連続で前年を上回った



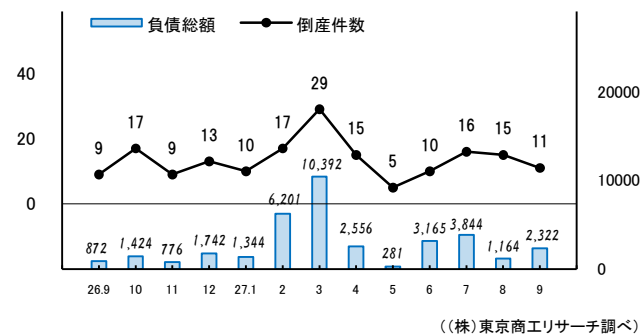
◆企業の業況感（4-6月期）◆

前期からマイナス幅が縮小した



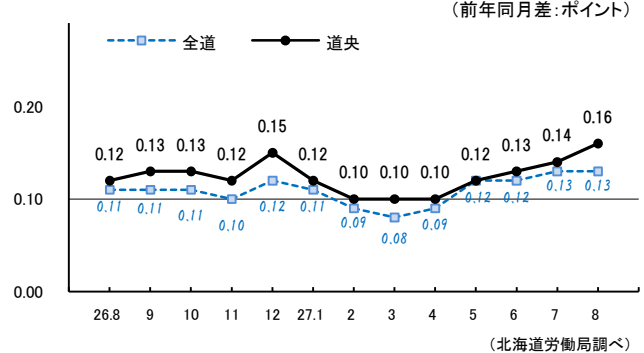
◆企業倒産件数・負債総額（9月）◆

10億円以上の大型倒産が1件発生した
（倒産件数：件、負債総額：百万円）



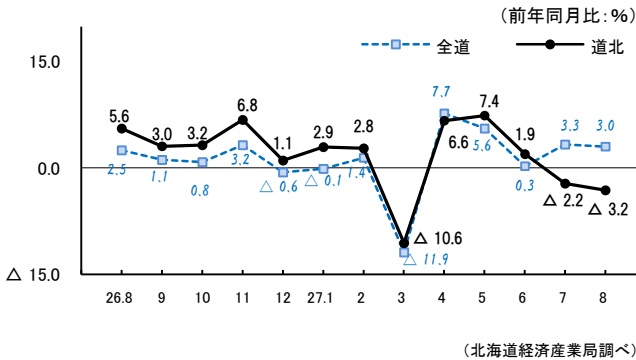
◆有効求人倍率（8月）◆

66か月連続で前年を上回った

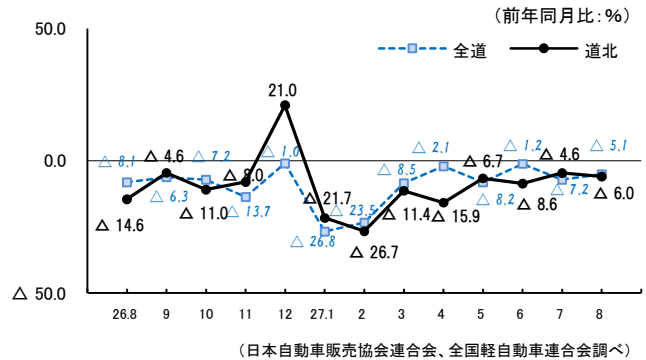


■道北圏

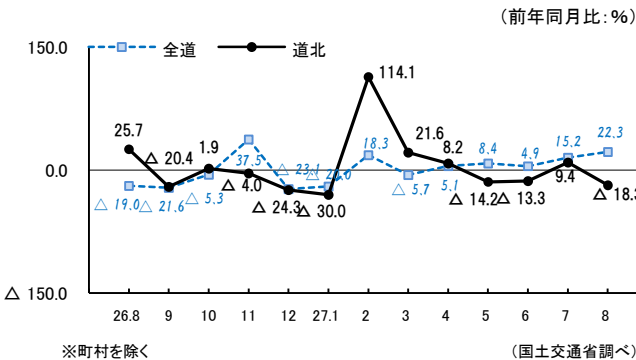
◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (8月)◆ 2か月連続で前年を下回った



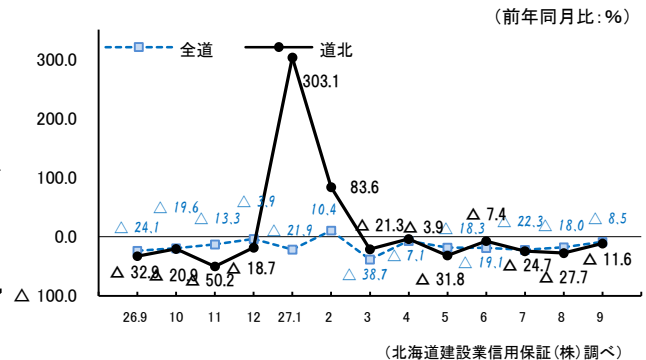
◆新車登録台数(乗用車) (8月)◆ 8か月連続で前年を下回った



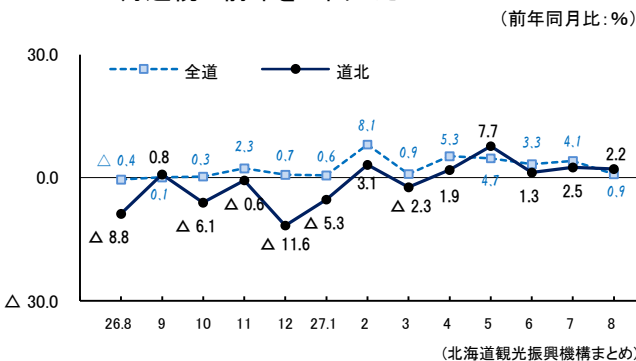
◆新設住宅着工戸数 (8月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



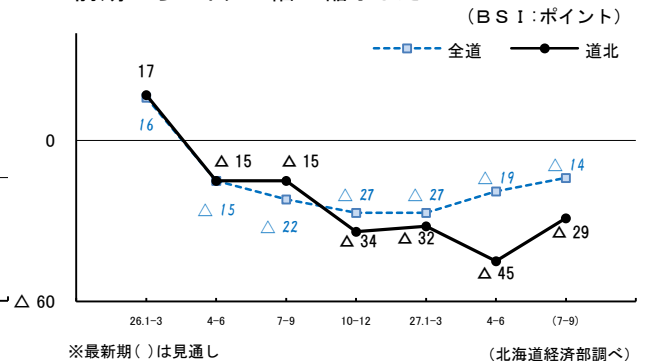
◆公共工事請負金額 (9月)◆ 7か月連続で前年を下回った



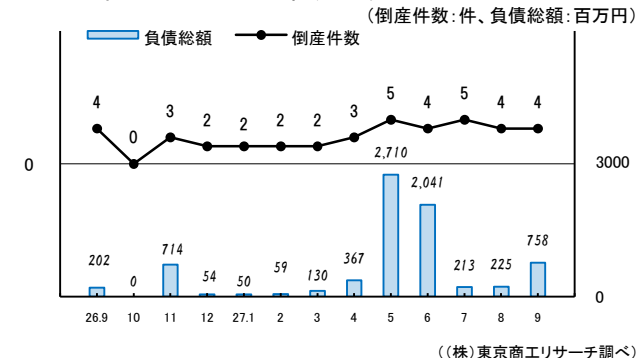
◆航空機利用による来道者数(着地別) (8月)◆ 5か月連続で前年を上回った



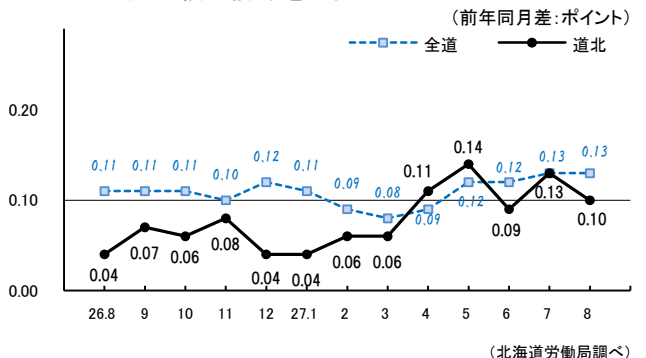
◆企業の業況感 (4-6月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額 (9月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



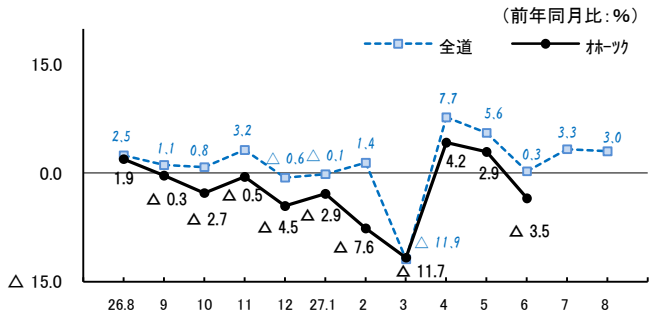
◆有効求人倍率 (8月)◆ 68か月連続で前年を上回った



■オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店)(6月)◆

3か月ぶりに前年を下回った

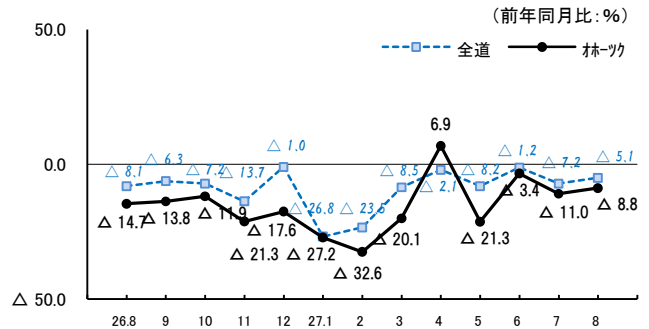


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(8月)◆

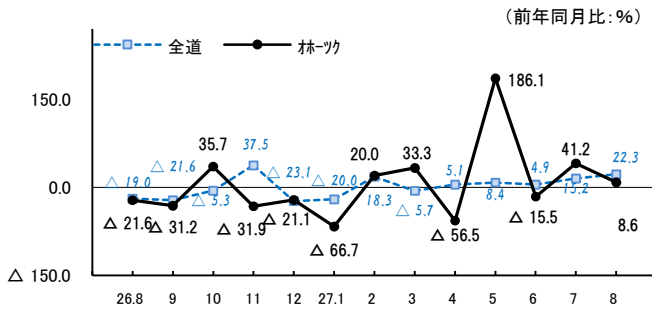
4か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会調べ)

◆新設住宅着工戸数(8月)◆

2か月連続で前年を上回った

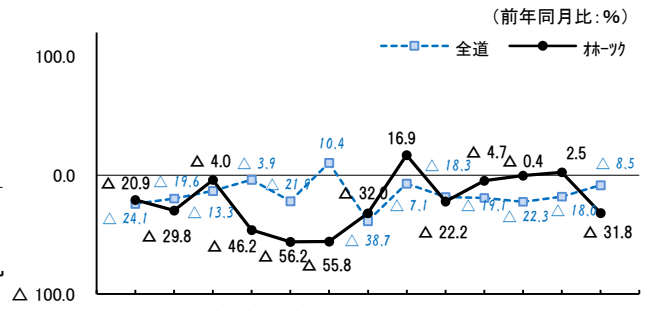


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(9月)◆

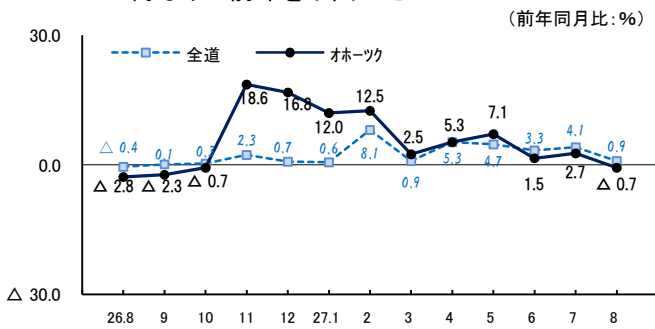
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(8月)◆

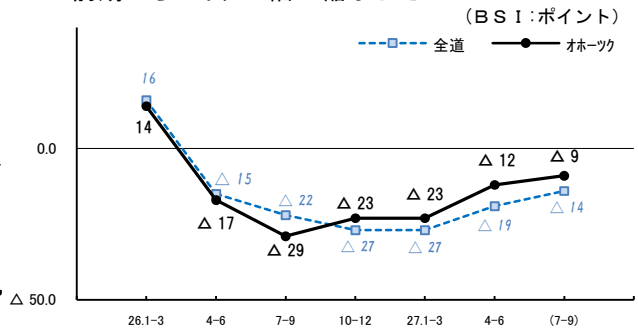
10か月ぶりに前年を下回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した

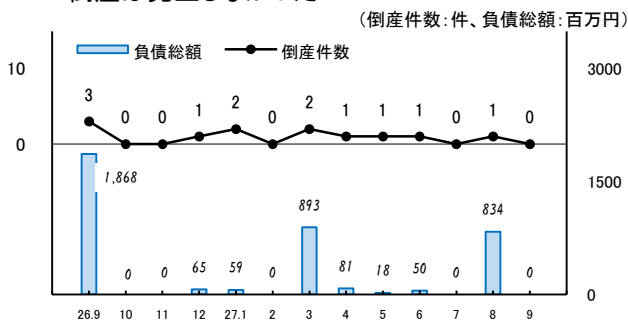


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(9月)◆

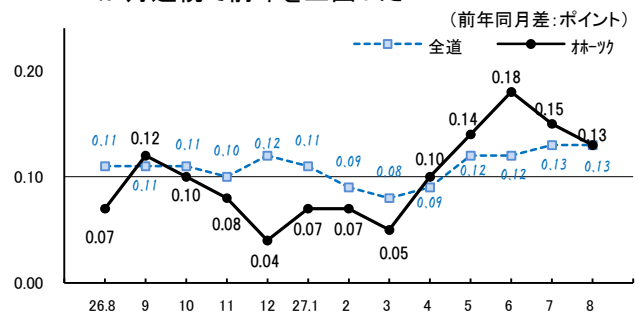
倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(8月)◆

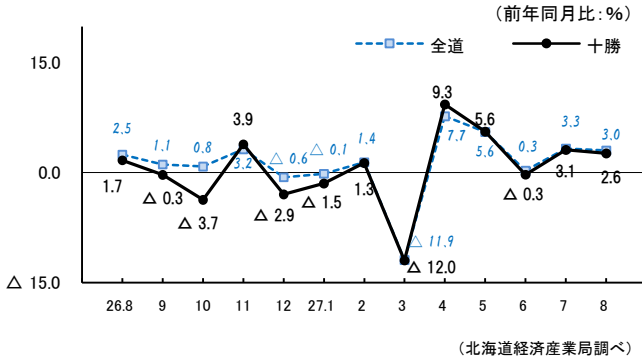
71か月連続で前年を上回った



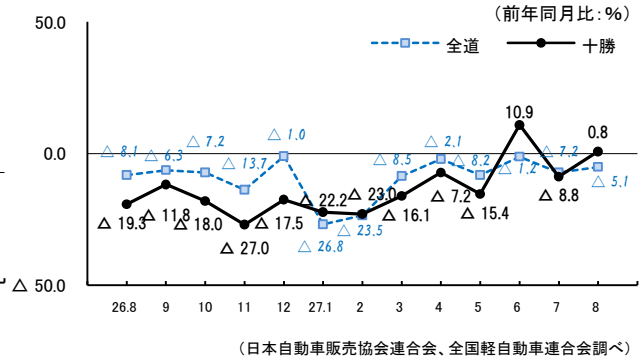
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

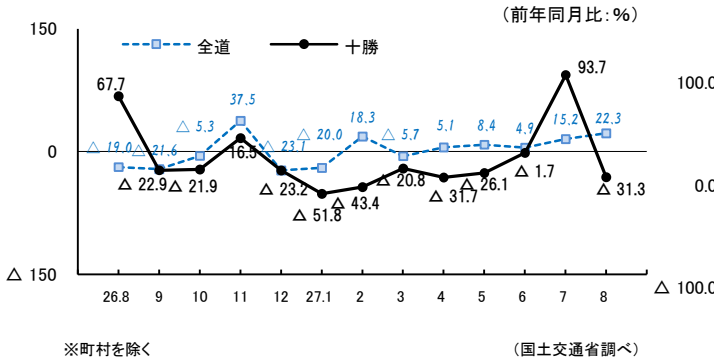
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (8月)◆
2か月連続で前年を上回った



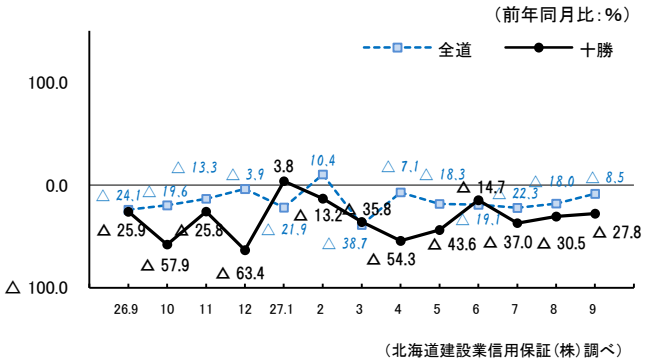
◆新車登録台数(乗用車) (8月)◆
2か月ぶりに前年を上回った



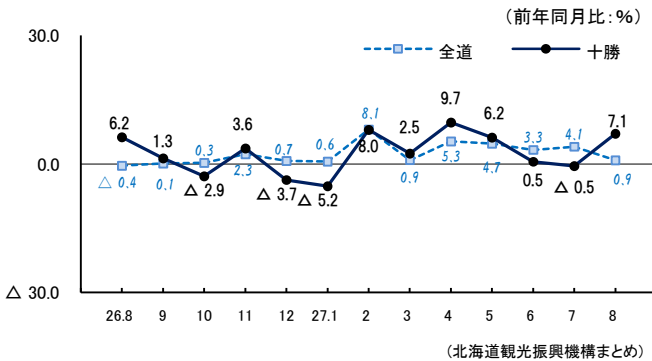
◆新設住宅着工戸数 (8月)◆
2か月ぶりに前年を下回った



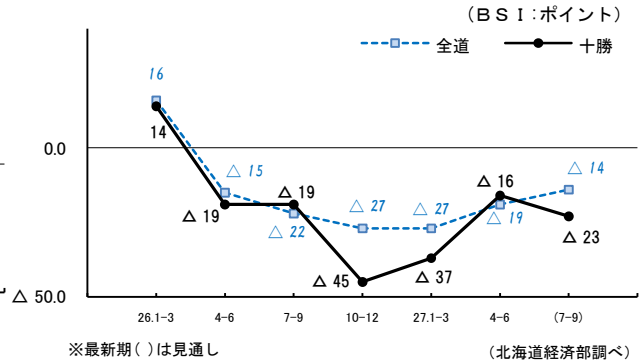
◆公共工事請負金額 (9月)◆
8か月連続で前年を下回った



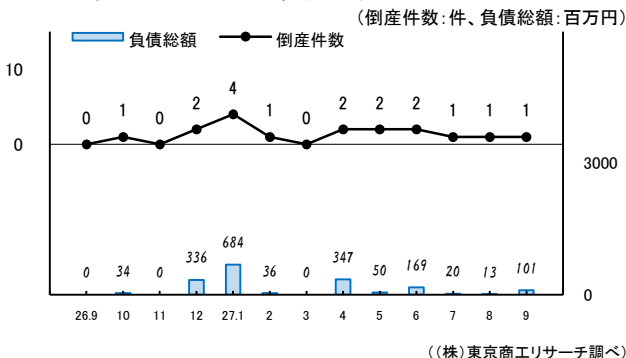
◆航空機利用による来道者数(着地別) (8月)◆
2か月ぶりに前年を上回った



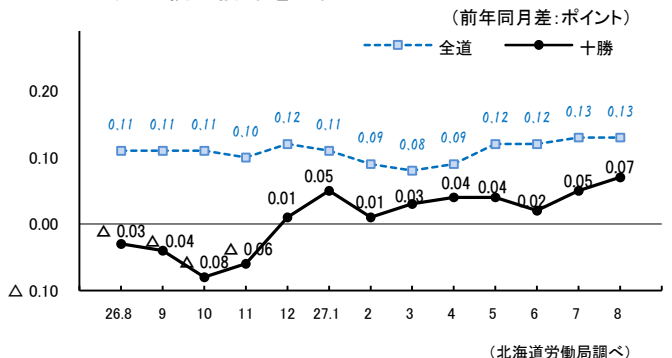
◆企業の業況感 (4-6月期)◆
前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額 (9月)◆
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



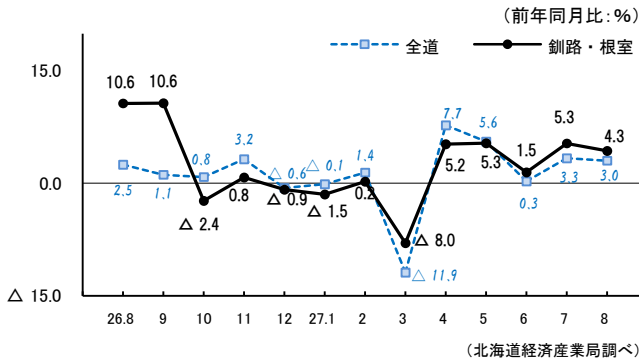
◆有効求人倍率 (8月)◆
9か月連続で前年を上回った



■釧路・根室圏

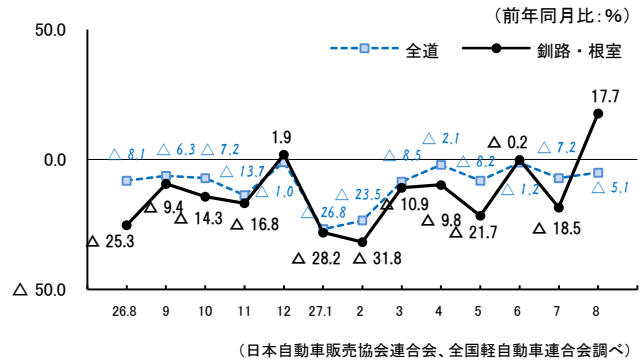
◆大型小売店販売額(全店、釧路市)(8月)◆

5か月連続で前年を上回った



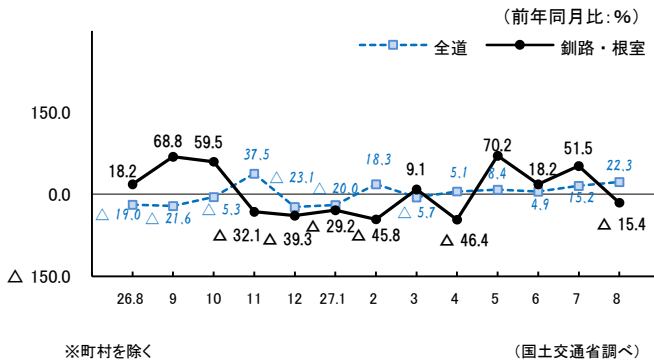
◆新車登録台数(乗用車)(8月)◆

8か月ぶりに前年を上回った



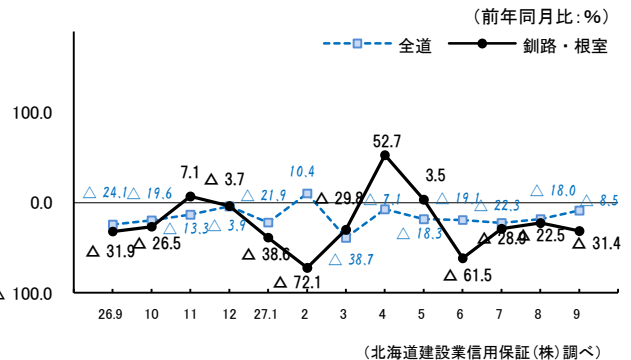
◆新設住宅着工戸数(8月)◆

4か月ぶりに前年を下回った



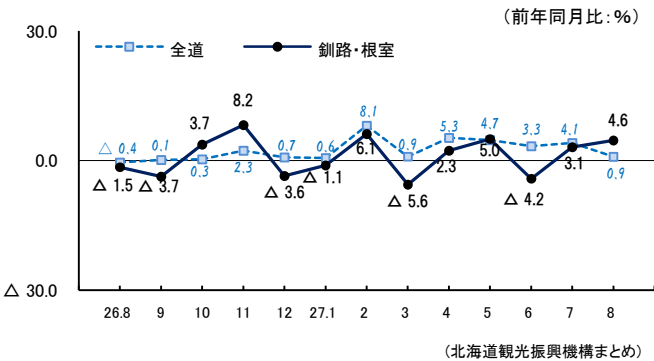
◆公共工事請負金額(9月)◆

4か月連続で前年を下回った



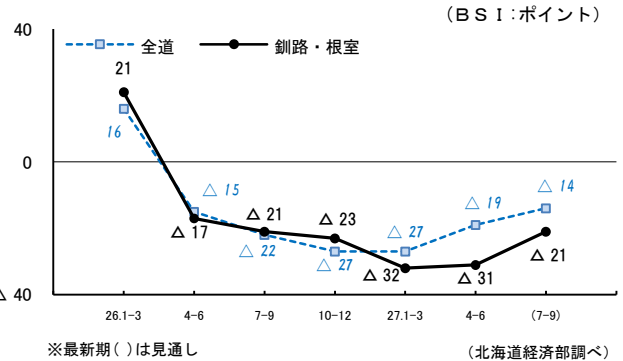
◆航空機利用による来道者数(着地別)(8月)◆

2か月連続で前年を上回った



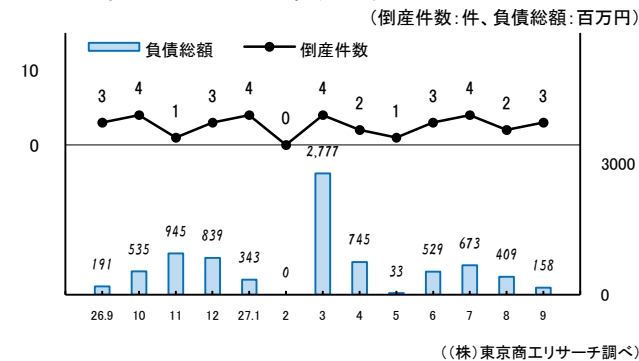
◆企業の業況感(4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



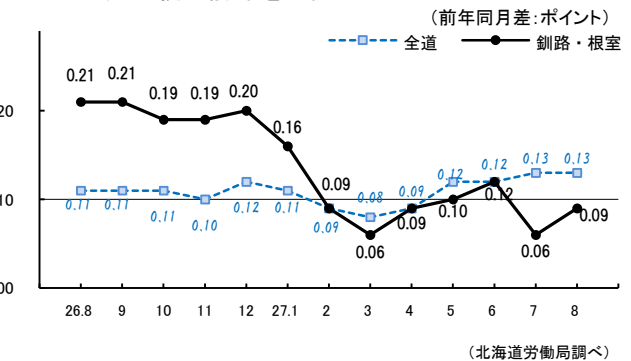
◆企業倒産件数・負債総額(9月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(8月)◆

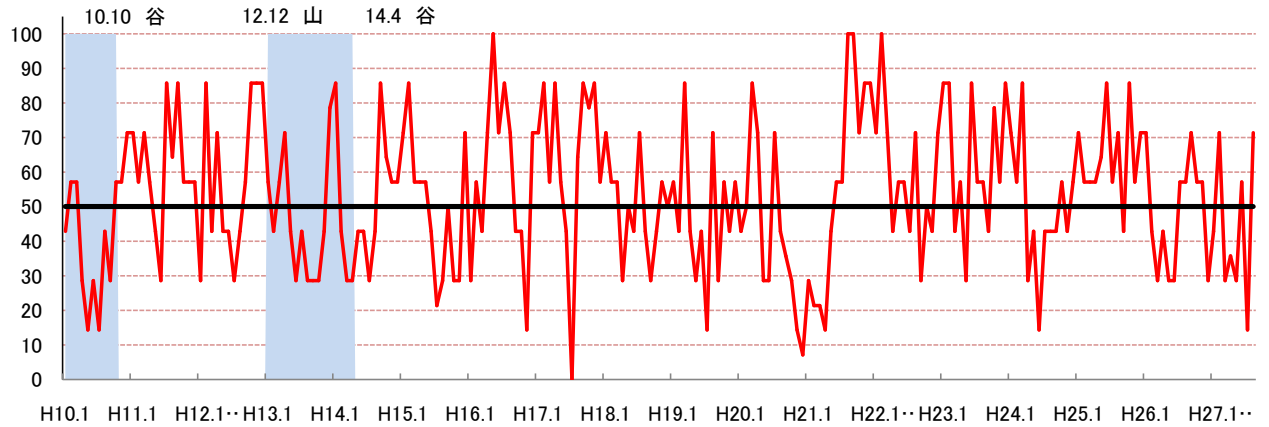
69か月連続で前年を上回った



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		26/ 8月	9月	10月	11月	12月	27/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	+	+	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-
	生産指数(生産財)	-	+	0	+	-	+	+	-	-	-	-	r	p
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+
	新設住宅着工戸数	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	-	-
	企業業況判断D.I.	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	0	0
	拡張系列数	1	4	3.5	5	3	2	2	2	4	4	5	2.5	4.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	14.3	57.1	50.0	71.4	42.9	28.6	28.6	28.6	57.1	57.1	71.4	r 35.7	p 64.3
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	-	-	-	+	-	-	-	+	+	-	-
	生産指数(鉱工業)	-	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	r	p
	出荷指数(生産財)	-	+	+	+	-	-	+	+	0	-	-	r	p
	大口電力使用量	+	-	+	-	+	-	+	-	-	-	+	-	+
	百貨店販売額(既存店)	+	+	+	+	-	-	+	-	+	+	+	r	p
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	+	+	+	-	-	+	-	-	-	+	+	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	r	p
	拡張系列数	4	5	4	4	2	3	5	2	2.5	2	4	1	5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	57.1	71.4	57.1	57.1	28.6	42.9	71.4	28.6	35.7	28.6	57.1	r 14.3	p 71.4
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	0	0
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	-	-	+	-	+	+	-	-	+	+	-	+
	生産指数(資本財)	-	-	-	-	-	+	-	+	-	+	+	r	p
	拡張系列数	0	1	0	1	0	4	3	3	0	2	2	2.5	2.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	60.0	60.0	0.0	40.0	40.0	r 50.0	p 62.5	

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。PIは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■全国の景気

我が国経済の基調判断

～景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、総じて持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、このところ弱含んでいる。
- ・生産は、このところ弱含んでいる。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善傾向にある。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化に向かうなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動が長期化した場合の影響に留意する必要がある。

<内閣府月例経済報告(平成27.10.14)から抜粋>

最近の経済動向
平成27年10月号

編集・発行 北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>